



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年10月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,302	21.0	521	193.8	509	178.9	388	351.2
2022年3月期第2四半期	5,207	4.2	177	194.8	182	254.2	86	54.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	17.82	
2022年3月期第2四半期	3.95	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
2023年3月期第2四半期	21,289		11,264			52.9
2022年3月期	21,172		11,004			52.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,264百万円 2022年3月期 11,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		4.00	4.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	5.2	640	54.7	610	53.4	390	57.2	17.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	21,974,000 株	2022年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	149,623 株	2022年3月期	149,140 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	21,824,693 株	2022年3月期2Q	21,825,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波到来による感染者数の急増、ウクライナ情勢や中国でのロックダウンによる原料調達の制約、更に、急激な円安などの影響で原燃料の価格や物価が上昇するなど、景気を下押しする経済状況が続く、今後もしばらくは不透明で、予断を許さない状況が続くものとみております。

化学工業におきましても、半導体関連を中心に堅調な推移を見せているものの、原材料やエネルギーコストの上昇による収益への圧迫が見られるなど、引き続き厳しい経営環境が続いていると認識しております。

こうした状況下、当社はアミノ酸製造設備への大規模な投資を7月に決定するなど、市場の動向および需要を見定め、機動的な対応をとりつつ、重要課題を克服・解決しながら経営基盤を強化し、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。当第2四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比21.0%増の6,302百万円と増収となり、3製品区分とも堅調に売上を伸ばしましたが、第2四半期に入ってからには原材料やエネルギーコスト高騰の影響を大きく受けたため、営業利益は前年同四半期比193.8%増の521百万円、経常利益は前年同四半期比178.9%増の509百万円、四半期純利益は前年同四半期比351.2%増の388百万円にとどまりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2022年3月期第2四半期累計期間				2023年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	476	1,570	2,046	39.3	553	1,976	2,529	40.1
化成品関係	1,146	298	1,445	27.8	1,488	381	1,869	29.7
医薬品関係	1,047	668	1,715	32.9	1,545	357	1,903	30.2
計	2,670	2,536	5,207	100.0	3,587	2,715	6,302	100.0
構成比(%)	51.3	48.7	100.0		56.9	43.1	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

サプリメント用途、工業用途、医薬用途の輸出販売が好調であったことから、売上高は2,529百万円と、前年同四半期に比べ482百万円(23.6%)の増収となりました。

(化成品関係)

農薬中間体、船底塗料用原料、高分子材料などの販売が増加したことにより、売上高は1,869百万円と、前年同四半期に比べ424百万円(29.4%)の増収となりました。

(医薬品関係)

輸出用原薬及び原薬中間体の販売が減少したものの、国内向け原薬等の販売は順調であったことから、売上高は1,903百万円と、前年同四半期に比べ188百万円(11.0%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から110百万円減少し、10,252百万円となりました。これは主に、製品、仕掛品の増加と、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から226百万円増加し、11,036百万円となりました。これは主に、機械及び装置の増加と、建物、建設仮勘定、投資有価証券の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から72百万円減少し、6,896百万円となりました。これは主に、設備関係電子記録債務、支払手形及び買掛金、電子記録債務、賞与引当金の増加と、短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から70百万円減少し、3,128百万円となりました。これは主に、長期借入金、退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から259百万円増加し、11,264百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加と、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,573百万円となり、前事業年度末に比べ282百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は981百万円(前年同四半期は812百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費447百万円、仕入債務の増加185百万円、売上債権の減少307百万円、棚卸資産の増加495百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は180百万円(前年同四半期は162百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出152百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,123百万円(前年同四半期は691百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入200百万円、短期借入金の返済による支出1,000百万円、長期借入金の返済による支出189百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当社の2023年3月期通期の業績予想につきましては、今後も上昇する原材料やエネルギーコストの影響が予想されるなど不透明な状況が続くものと見込まれるため、2022年5月16日に発表いたしました業績予想は変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856	1,573
受取手形及び売掛金	2,764	2,457
製品	3,379	3,678
仕掛品	414	615
原材料	1,552	1,533
その他	396	395
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,362	10,252
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,277	2,233
機械及び装置（純額）	1,863	2,233
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	66	29
その他（純額）	1,205	1,208
有形固定資産合計	8,523	8,815
無形固定資産	216	224
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506	1,456
その他	563	539
投資その他の資産合計	2,070	1,996
固定資産合計	10,810	11,036
資産合計	21,172	21,289
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	2,014
電子記録債務	322	407
短期借入金	3,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	379	419
未払法人税等	50	112
賞与引当金	168	250
設備関係電子記録債務	44	635
その他	591	557
流動負債合計	6,969	6,896
固定負債		
長期借入金	1,164	1,135
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,099	1,073
資産除去債務	14	14
その他	319	304
固定負債合計	3,199	3,128
負債合計	10,168	10,024

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,634	3,935
自己株式	△47	△47
株主資本合計	10,307	10,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528	486
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	696	655
純資産合計	11,004	11,264
負債純資産合計	21,172	21,289

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,207	6,302
売上原価	4,201	4,602
売上総利益	1,005	1,699
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	201	212
賞与引当金繰入額	32	52
研究開発費	99	375
その他	493	537
販売費及び一般管理費合計	827	1,177
営業利益	177	521
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	20
為替差益	3	39
雑収入	15	9
営業外収益合計	36	69
営業外費用		
支払利息	25	21
支払手数料	2	3
関税費用	—	53
雑損失	2	3
営業外費用合計	31	81
経常利益	182	509
特別損失		
支払補償金	29	—
固定資産除却損	34	33
特別損失合計	63	33
税引前四半期純利益	119	476
法人税等	32	87
四半期純利益	86	388

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	119	476
減価償却費	452	447
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28	81
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	△26
固定資産除却損	34	33
受取利息及び受取配当金	△17	△20
支払利息	25	21
支払補償金	29	—
売上債権の増減額 (△は増加)	806	307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,118	△495
仕入債務の増減額 (△は減少)	591	185
未払又は未収消費税等の増減額	△28	△124
その他	△56	110
小計	813	997
利息及び配当金の受取額	17	20
利息の支払額	△26	△22
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	24	△25
支払補償金の支払額	△29	—
その他	11	12
営業活動によるキャッシュ・フロー	812	981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133	△152
有形固定資産の除却による支出	△22	△26
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△1	△3
その他固定資産の取得による支出	△3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	△1,000
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△189	△189
リース債務の返済による支出	△36	△46
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△65	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△691	△1,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38	△282
現金及び現金同等物の期首残高	1,256	1,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,217	1,573

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」に記載した、会計上の見積り等に際しての新型コロナウイルス感染症の収束時期等の仮定について重要な変更はありません。